

2024年夏季闘争ニュース

No.24-11 2024年9月1日
発行:目黒地区労働組合協議会/教宣部
【HP】<http://meguro-rokyo.jp/>
メール:union@r05.itscom.net



東京最賃 50円(4.49%)引き上げ 時給1,163円に

8月21日、東京地方最低賃金審議会は、東京都最低賃金を50円引き上げ、時間額1,163円に改正するのが適当であるとした8月5日の意見に対する異議申立てについて審議を行い、改めて意見どおり改正することが適当であるとの答申を行いました。

東京は12年間中央の目安通りの引上げに

今年度は、中央最低賃金審議会が「一律50円」引き上げ額の目安を答申。それを受け各県の審議会で県別に検討され、決定されます。東京は全国で唯一、11年連続目安通りの50円引上げで、これは全国最低額・最低率の引き上げです。

低額・低率引き上げに異議提出

めぐろ労協 HP に収録

→ <http://meguro-rokyo.jp/20240815/8062/>
→8/21 現在「自治労連」引用→

各地方最低賃金の引き上げ答申 (全国目安A・B・Cランクすべて50円)	
A東京…1163円(50円引き上げ)	B福井…984円(53円引き上げ)
A神奈川…1162円(50円引き上げ)	B石川…984円(51円引き上げ)
A大阪…1114円(50円引き上げ)	B岡山…982円(50円引き上げ)
A埼玉…1078円(50円引き上げ)	B和歌山…980円(51円引き上げ)
A愛知…1077円(50円引き上げ)	B山口…979円(51円引き上げ)
A千葉…1076円(50円引き上げ)	B宮城…973円(50円引き上げ)
B京都…1058円(50円引き上げ)	B香川…970円(52円引き上げ)
B兵庫…1052円(51円引き上げ)	B島根…962円(58円引き上げ)
B静岡…1034円(50円引き上げ)	C鳥取…957円(57円引き上げ)
B三重…1023円(50円引き上げ)	B愛媛…956円(59円引き上げ)
B広島…1020円(50円引き上げ)	C佐賀…956円(56円引き上げ)
B滋賀…1017円(50円引き上げ)	B福岡…955円(55円引き上げ)
B北海道…1010円(50円引き上げ)	C大分…954円(55円引き上げ)
B茨城…1005円(52円引き上げ)	C山形…954円(55円引き上げ)
B栃木…1004円(50円引き上げ)	C鹿児島…953円(56円引き上げ)
B岐阜…1001円(51円引き上げ)	C長崎…953円(55円引き上げ)
B長野…998円(50円引き上げ)	C青森…953円(55円引き上げ)
B富山…998円(50円引き上げ)	C沖縄…952円(56円引き上げ)
B福岡…992円(51円引き上げ)	C宮崎…952円(55円引き上げ)
B山梨…988円(50円引き上げ)	C高知…952円(55円引き上げ)
B奈良…986円(50円引き上げ)	C熊本…952円(52円引き上げ)
B新潟…985円(54円引き上げ)	C秋田…951円(54円引き上げ)
B群馬…985円(50円引き上げ)	未答申…岩手、徳島

※8月21日現在

最低賃金大幅引き上げへ

中央審議会・目安小委員会 傍聴行動

中央最低賃金審議会、実質的な額を論議する目安小委員会は6月25日、7月10日・18日・23日・24日と5回開催。昨年より目安小委員会も「部分公開」。公・労・使、3者が集まるときは傍聴可能に。全労連・全労協・最賃大幅引き上げキャンペーンなどの労働者は、一昨年までは秘密会でも開催情報を得て会場前行動を迫り、部分公開になってからも毎回、会場前宣伝行動を続けています。今年是有楽町の都庁後「東京国際フォーラム」と、厚生労働省会議室が会場。目安小委、5回中4回は当選し傍聴しました。



7/18 国際フォーラム前

東京最賃・専門部会 開催回数も不明

中央最低賃金審議会の目安が出され、7月30日から東京の最賃審議が実質開始に。今年からやっと「部分公



開」になった、実質審議の場「専門委員会」。7月30日の開催分は傍聴公募されましたが、傍聴者は4人？。抽選に落選し参加できず。その後、この専門部会が何回開催されたかも不明のため、個人で情報公開請求しています。7月30日には審議会の開会前、東京労働局＝千代田区役所も入るビル前で、東京春闘共闘・東京地評が22人参加で宣伝行動。郵政ユニオンや出版労連東京などから発言がありました。

東京最賃の大幅引き上げへ

☆東京の最低賃金は、約840万人の東京の労働者中3割近い人に影響（東京都影響率2023年28.6%）。毎年10月の最低賃金改定に伴って、賃金が上がる人は約4割以上。春（*春闘）よりも秋に賃金上がる人が多いのです。そういう意味で、200～300万人の暮らしがかかっている「賃金交渉」です。

☆しかし最賃審議会には、この最賃近傍で暮らす労働者は一人も入っていません。大学教授・企業団体役員・連合などの労働団体専従幹部ばかりです。しかも東京審議会では、検討資料もすぐには開示されず、傍聴者も制限。密室審議が続いています。また、中央最低賃金審議会の目安通りという結論ありきで、東京の労働者の実情を見た十分な審議が行われているか、はなはだ疑問です。

☆各県ごとの最低賃金決定という現行方式を改め、全国一律最低賃金へ、最低賃金法改正を含め改革が必要です。また現行方式の中でも、「最賃近傍労働者の声を聴け！」「審議公開や意見表明の場づくりが必要！」と声をあげ続けましょう！

（*以上、目黒労協/事務局）

参加労組 & 組合員が主役 5年ぶり開催の「Summer Meeting2024」報告 Part2

7月20日(土)に行われた、目黒労協主催「Summer Meeting2024(労組交流&組合員懇親会)」の報告を先月号で行いましたが、すべて紹介しきれませんでした。紹介しきれなかった労組よりの報告・感想を掲載しますので、ぜひ雰囲気を感じて下さい。来年度も企画しますので、その際は多くの労組の参加をお願いします。

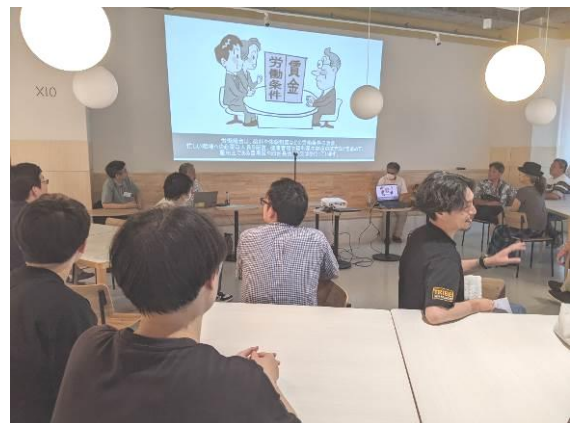
目黒区職労

遠くの親戚より近くの組合！

目黒区職労は、新入職員向けに、若手役員が中心になって作った、「組合紹介ビデオ」を発表しました。組合のメリットや楽しいイベントの紹介だけでなく、組合費の説明もちゃんと入っているところが、さすがお役所。自分の所属する組合ながら、よくできていると感心しました。でも、若手組合員が顔出ししているのでも、他の組合の人はなかなか見るチャンスはありません。この日参加した方はラッキーでした。

パスコ労組のスライドも新人向けで、組合加入のメリットが5項目取り上げられていましたが、この項目はまさに区職労も同じ！「遠くの親戚より近くの組合」ですね。土建目黒支部のスライドは、楽しそうなイベント満載で、ひとり親方もみんなとつながることができる組織だとわかりました。

ひとりで入れる組合の存在も再認識し、ためになるミーティングでした。18時から始まり、19時30分まで飲食はお預け。まじめに他労組と交流するという、すばらしい会でした。（目黒区職労/労協執行委員）



JMITU 目黒地域支部

「サマーミーティング2024」に参加して

何より、参加するまで勘違いはなはだしかった。いつものごく普通の集会程度にしか考えていなかった。自分たちは労働組合を名乗っているが、経営に対する要求先がない(*現役組合員がいない)ため、どうしても意識は上に位置するみたいなものか。



この集会の中心は、大東通信機労組、パスコ労組、土建目黒支部、東工大職組などか。プロジェクターから映し出された画面を見ながら、若い人たちの声に耳を傾けさせられた。職場や組合役員の紹介、どんな闘い方をしているのか。プレゼンを聞きながら、目黒地域支部は経営に対する要求先がないとしても、高齢なのだからこそ「年金額の低さ」や、「社会保障費の減額反対」などは訴えることはできる、と改めて気付かされた。が、いかんせん体力の衰えは何ともしがたい。ジレンマ大ではある。

新しく明るい食堂、東工大つばめテラスで出された料理は、この種の集会では今までで一番美味しいなと思いつつ、参加労組をより細かく知る今回の交流は、とても意義深く感じる事ができた。

(JMITU 目黒地域支部/委員長)

めぐろユニオン

次回はもっと組合員に声をかけ、みんなて参加したい！

労協サマーミーティング2024に、めぐろユニオンから4名で参加しました。不安定な天候で雷を伴う雨も降りましたが、ミーティング前後の移動時には、雨に降られずにすみました。また、会場の「つばめテラス」は綺麗で広く、参加した皆さんの評判が良かったです。

今回ミーティングの「労組発表」では、めぐろユニオンもパワーポイントを作成し、活動発表を行いました。ユニオンの他に5労組よりも発表がなされ、普段の会議や交流では知られない事が紹介され、本当に良い地域共闘の一翼になったと思います。

発表後の飲食と懇談の時間では、さらに参加された方たちと懇親がすすみ、認識を深めることができました。ミーティング終了後には2次会も設定(*希望者)されており、9名ほどでカラオケと交流を深めていました。ユニオンは、今回4人の参加でしたが、次回はもっと組合員に声をかけ、みんなて参加したいと思います。(めぐろユニオン/会長)



**地域共闘を拡げ 目黒労協を大きくしよう！
活動方針の討議・決定**

目黒労協 第73回定期大会

- ◆11月16日(土) 土建目黒会館/午後 1時開会
- ◆代議員の確保をお願いします、大会の成功を！

核兵器のない世界を 被爆80年へ 原水爆禁止2024年世界大会 — 広島大会に参加しました

今年の原水爆禁止世界大会のテーマは、「被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を一人類と地球の未来のために」です。8月4日～6日の日程で、東京土建目黒支部の仲間3人で広島大会に参加しました。

3日間びっしりと行動が組まれましたが、そのうち2日めの「分科会」のことを報告したいと思います。分科会は「非核平和のアジアのために—日本と東アジアの運動との交流」を選択し、参加しました。

■分科会では、ベトナム、フィリピン、韓国、日本の活動家より報告がなされました。

■ベトナム 4つのノー「防衛方針」

- 1、軍事同盟に参加しない
- 2、二国関係に第三国の介入を求めない
- 3、外国の軍事基地を置かない、領土利用による他国への対抗をさせない
- 4、国際関係における武力行使、武力による威嚇をしない

この4つを実行し永続させるために、学校教育で教えて、子どもたちに話し合いさせる教育をしているとのことです。すごい！

■韓国の仲間からの報告・・・来年、日本の広島・長崎は被爆80年だが、韓国は植民地からの解放80年。非核や平和を進めるためには、今までの関係を改めて作りなおす必要がある。韓国、北朝鮮、日本、アメリカ、中国、ロシアときちんと対話していかなくては、非核・平和は望めない。

■フィリピンの仲間の報告・・・フィリピンは米軍が再配備された。ミサイルシステムで、射程が1600キロメートル。中国軍が南シナ海で違法な軍事行動をしているために、フィリピン北部に建設されました。軍事対抗する最悪の悪循環になっています。若い世代にどうやって伝えて行くか、どの国でも課題だとまとめがありました。見て、聞いて感じたことを伝えて行く。スマホ世代では、30秒くらいで興味をわかせないと、反応しないようです。

■参加者発言、沖縄新婦人より少女暴行事件について

日本在留米軍10万人、うち5万人が沖縄にいて、さらに1万5千人が基地の外に住んでいる。基地内に居住地もあるのに！ 人殺しの訓練を受けて、一番最初の上陸作戦を担う、海兵隊は怖い。今まで明るみに出ているのは、氷山の一角だと思います。沖縄女性団体連絡協議会は保守も革新も全員で団結し、東京に上京して抗議要請・要望したが、プライバシー保護のためとあしらわれた。ならば巨大な市民運動が必要と、沖縄県議会の全会派に集会参加の申し入れ、全会派参加の県民大集会を開催します、全国から力を貸して下さい！ と訴えがありました。

■まとめ・・・今日も沖縄の高校生から、同じように訴えがありました。

沖縄の女性暴行事件は沖縄だけの問題ではありません、連帯しましょう。

今、世界が第二次世界大戦以降で、世界戦争・核戦争の危険が高まっています。しかし希望は世界の各地で、大きな市民運動が起きていることです。その市民運動の原点は、被爆者・被害者の話したくないけど、語られた体験談が基になっていると、各国の人々が訴えています。高校生も全国大集会を開催するとがんばっています。おばちゃん、おっちゃんもがんばる時です。世界の状況・地域の状況を広め、活動しましょう！

以上、報告終わり。(世界大会に参加した土建目黒支部組合員)

